

第 1 2 回農作物病虫害防除フォーラム開催要領

1 開催趣旨

我が国の農業生産全体の在り方を環境保全に貢献する営みに転換するとともに、農業生産の安定との両立を図るため、総合的病虫害・雑草管理（I P M）の概念を導入した病虫害・雑草防除を推進することが必要である。

これを踏まえ昨年 9 月に都道府県での I P M 推進を支援するため、農林水産省は総合的病虫害・雑草管理（I P M）実践指針を公表したところである。

今後、各都道府県においては、本指針を参考にして、各地域の病虫害・雑草の発生と被害の実情に即した実践指標を策定等を行い、病虫害防除担当者のみならず普及指導員、試験研究者等の関係者、生産者団体等が共通の目標とそれぞれの役割を明確にした上で、I P M の普及・定着に向けた取組がなされることが重要である。

今回のフォーラムでは、今後の I P M の普及・定着に向け、すでに生産現場で取り組まれている野菜及び果樹の I P M 実践事例を報告し、生産現場での課題等について検討を行うこととする。

2 開催日時

平成 1 8 年 6 月 7 日（水） 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0

3 開催場所

農林水産省講堂（本館 7 階）

4 参集範囲

都道府県、地方農政局、独立行政法人、病虫害・雑草防除関係団体、農薬製造業者及び農業者団体

5 講演議題

(1) I P M の普及・定着に向けた取組について

消費・安全局植物防疫課 課長補佐（防除第 1 班担当） 福田 光雄

(2) 野菜の I P M について

① 野菜における I P M の現状と課題

長野県野菜花き試験場病虫害土壌肥料部 研究員 豊嶋 悟郎 氏

② 野菜 I P M の実践における雑草防除について

兵庫県立農林水産技術総合センター園芸部 部長 大西 忠男 氏

(3) 果樹の I P M について

① カンキツでの I P M 実践と今後の課題について

静岡県柑橘試験場病虫害研究室 研究主幹 市川 健 氏

② 落葉果樹での I P M 実践と今後の課題

福島県農業総合センター生産環境部作物保護グループ
主任研究員 荒川 昭弘 氏

(4) 総合討論

座長：（独）農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター
研究管理監 高橋 賢司 氏